

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標1
安心・安全の地域づくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
								評価	評価	評価	評価	評価
福祉サービスなどの整備・充実	①	住民ニーズに合わせた基盤整備	フードバンク桐生への食料品提供件数 単位:件	R2	160	194	総評	A	A	A	B	
				R3	170	199		目標値を超え、122%の実績となった。企業との協定も1件結ぶことができ累計6件となった。今後も提供件数は増加していくと考えられる。(福祉課)	目標値を超え、117%の実績となった。協定締結を1件結ぶことができた他、広報きりゅうにて特集ページを掲載する等、食品提供を広く周知することができた。(福祉課)	目標値を超え、130%の実績となった。令和5年の2月に広報きりゅうにて特集ページを掲載することができ、食品提供を広く周知することができた。(福祉課)	目標値を超え、103%の実績となった。ここ4年間190件以上の提供を受けることができ、食品在庫数も安定している。	
				R4	180	235						
				R5	190	196						
				R6	200							
				R6	200							
	②	サービスの質の確保	自立相談支援プラン作成件数中、一般就労開始数及び就労収入増加数 単位:%	R2	23	46	総評	B	C	C	B	
				R3	26	21		新型コロナウイルスの状況により、必須であったプラン作成が緩和され、作成数が28件となった。一般就労達成件数及び就労収入増加数は13件であったため、実績値は46.4%(13/28)となり目標値より上回った。(福祉課)	プラン作成については9月まで令和2年度と同様に緩和されていたが、順次作成するよう方針が変わり作成件数は23件であった。うち、就労達成件数及び収入増加数は5件となり、実績値は21.7%(5/23)であった。(福祉課)	プラン作成件数は41件であった。うち、就労達成件数及び就労収入増加数は9件となり、実績値は21.9%(9/41)であった。(福祉課)	プラン作成件数は37件であった。うち、就労達成件数及び就労収入増加数は12件となり、実績値は32.4%(12/37)であった。(福祉課)	
				R4	28	21						
				R5	30	32						
R6	32											
適切な福祉情報の提供	①	情報提供の充実	福祉サービス等の周知	R2			総評	C	C	C	C	
				R3				「広報きりゅう」及びホームページを活用し、市民に広く福祉サービス情報を発信・提供した。(福祉課)	各課の施策を互いに共有し、「広報きりゅう」及びホームページのほか、Facebook等を通じて広く福祉サービス情報を発信・提供している。(福祉課)	各課の施策を互いに共有し、「広報きりゅう」及びホームページのほか、Facebook等を通じて広く福祉サービス情報を発信・提供している。(福祉課)	各課の施策を互いに共有し、「広報きりゅう」及びホームページのほか、Facebook等を通じて広く福祉サービス情報を発信・提供している。(福祉課)	
				R4								
				R5								
	R6											
	②	計画の周知	地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知	R2			総評	C	C	C	C	
				R3				第3次計画を、公民館等市有施設に配置し、周知を図った。「生き生き市役所出前講座」に登録した。(福祉課)	「生き生き市役所出前講座」に登録した。(福祉課)	「生き生き市役所出前講座」に登録して募集している。(福祉課)	「生き生き市役所出前講座」に登録して募集している。(福祉課)	
				R4								
				R5								
				R6								
R6												
活動拠点としての施設活用	①	集いの場づくりへの支援	子ども食堂の実施箇所数 単位:か所	R2	4	1	総評	D	C	B	B	
				R3	4	1		新型コロナウイルス感染症の影響により子ども食堂を実施できない団体があった。(子育て相談課)	新型コロナウイルス感染症の影響により子ども食堂を実施できない団体があった。(子育て相談課)	活動を再開した団体、新規に活動を始めた団体があった。(子育て相談課)	学習支援を行っていた団体が、子ども食堂へ移行した。(子育て相談課)	
				R4	5	3						
				R5	5	4						
				R6	6							
				R6	6							
	②	活動情報の提供	高齢者憩いの施設の周知	R2			総評	C	C	B	B	
				R3				高齢者の憩いの施設として、長寿センター等高齢者福祉施設の紹介を高年齢福祉ガイドやホームページ等で周知している。(R2年度は感染拡大防止対策のため全館休館)(健康長寿課)	高齢者の憩いの施設として、長寿センター等高齢者福祉施設の紹介を高年齢福祉ガイドやホームページ等で周知している。(R3年度は感染拡大防止対策のため全館休館)(健康長寿課)	高齢者の憩いの施設として、長寿センター等高齢者福祉施設の紹介を高年齢福祉ガイドやホームページ等で周知。(R4年度は感染拡大防止対策のため週2回、人数制限、予約制で開館)(健康長寿課)	高齢者の憩いの施設として、長寿センター等高齢者福祉施設の紹介を高年齢福祉ガイドやホームページ等で周知。(R5年度は感染拡大防止対策のため週3回、人数制限、予約制で開館)(健康長寿課)	
				R4								
				R5								
R6												

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標1
安心・安全の地域づくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
健康の推進	①	介護予防の普及啓発	介護予防教室実施回数 単位:回	R2	113	82	評価	D	B	B	B	
				R3	113	83	総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、警戒度をふまえた教室実施となったため、中断・中止となるコースがあった。外出自粛下によるフレイル予防の普及啓発に努めた。(健康長寿課)	新型コロナウイルス感染警戒レベルをふまえた教室実施となったため、延期等計画を変更しながら実施。中断・中止となるコースもあったため、実施回数は横ばいとなっている。(健康長寿課)	新型コロナウイルス感染警戒レベルをふまえた教室実施となったが、延期・中止などなく実施できたため、実施回数が増加。(健康長寿課)	受託事業者が増加したことや、延期・中止がなく実施できたことから実施回数は目標値に達した。(健康長寿課)	
				R4	113	108						
				R5	113	113						
				R6	113							
				災害時などの支援協力体制	①	災害時避難行動要支援者名簿の活用	個別プラン作成 災害時避難行動要支援者名簿登録希望者数 単位:件	R2			評価	C
R3			総評					防災・危機管理課、健康長寿課及び福祉課並びに民生委員、社会福祉協議会と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍においてほぼ実施できなかった。(福祉課、防災・危機管理課)	個別避難計画について、16区では個別避難計画作成にかかる訪問調査を実施することができた。訪問調査の結果、支援者がいることや自力避難が可能であることが判明した。(福祉課)	個別避難計画について、10区にて個別避難計画作成にかかる訪問調査を実施することができた。訪問調査の結果、支援者がいることや自力避難が可能であることが判明した。(福祉課)	個別避難計画について、10区及び12区にて個別避難計画作成にかかる訪問調査を実施することができた。訪問調査の結果、支援者がいることや自力避難が可能であることが判明した。(福祉課)	
R4												
R5												
R6												
R2	300	210	評価					D	B	B	B	
R3	300	555	総評					対象者1193人に対して希望者数210人、割合にして17.6%の希望率となった。新型コロナウイルスの影響によって、未回答者への訪問が行えなかったことが要因として考えられる。(福祉課)	対象者1486人に対して希望者555人、割合にして37%の希望率となった。令和3年度は民生委員による未回答者への訪問調査を実施できたことが要因として考えられる。(福祉課)	対象者1414人に対して希望者585人、割合にして約41.4%の希望率となった。令和4年度は前年度と引き続き民生委員による未回答者への訪問調査を実施した。(福祉課)	対象者1364人に対して希望者334人、割合にして約24.5%の希望率となった。民生委員の負担軽減のため、令和5年度より未回答者への訪問調査は行わないこととした。(福祉課)	
R4	300	585										
R5	300	334										
R6	300											
②	連携・災害時の体制づくり	地域との体制整備 社会福祉法人等との体制 福祉課、社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員での区ごとの避難行動要支援者名簿情報共有 単位:回	R2				評価	C	C	B	C	
			R3				総評	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。(防災・危機管理課)	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。(防災・危機管理課)	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。(防災・危機管理課)	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。(防災・危機管理課)	
			R4									
			R5									
			R6									
			R2				評価	B	C	C	C	
			R3				総評	15法人との協定に基づき、避難行動要支援者が有事の際、状況に応じて利用できる福祉避難所として63施設を確保している。R2、各対象施設に感染防止用備品を配備(健康長寿課)	15法人との協定に基づき、避難行動要支援者が有事の際、状況に応じて利用できる福祉避難所として63施設を確保している。(健康長寿課)	15法人との協定に基づき、避難行動要支援者が有事の際、状況に応じて利用できる福祉避難所として63施設を確保している。(健康長寿課)	15法人との協定に基づき、避難行動要支援者が有事の際、状況に応じて利用できる福祉避難所として62施設を確保している。(健康長寿課)	
			R4									
R5												
R6												
R2			評価	B	B	B	B					
R3			総評	社会福祉協議会、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)	社会福祉協議会、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、令和3年度から地域包括支援センターにも提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)	社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)	社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)					
R4												
R5												
R6												

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 2
支え合いの仕組みづくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談支援体制の充実	①	相談支援拠点の整備	地域包括支援センター相談件数	R2	14000	22434	評価	A	A	A	A	
				R3	20000	25251	総評	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築や地域の高齢者の実態の把握を行った。(健康長寿課)	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築や地域の高齢者の実態の把握を行った。また、全世代からの相談に包括的に応じ適切に対応した。(健康長寿課)	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築や地域の高齢者の実態の把握を行った。また、全世代からの相談に包括的に応じ適切に対応した。(健康長寿課)	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築や地域の高齢者の実態の把握を行った。また、全世代からの相談に包括的に応じ適切に対応した。(健康長寿課)	
				R4	20000	26894						
				R5	20000	23969						
				R6	20000							
			単位:件	R6	20000							
			家庭児童相談相談件数	R2	1500	1340	評価	B	B	B	B	
				R3	1500	1384	総評	子ども家庭総合相談支援拠点と子育て世代包括支援センターが一つの課となり、連携体制が強化された。(子育て相談課)	子ども家庭総合相談支援拠点と子育て世代包括支援センターが連携し、支援を行うことができた。母子父子自立支援員が配置されひとり親への相談体制が強化された。	子ども家庭総合相談支援拠点と子育て世代包括支援センターが連携し、継続的に切れ目ない支援を行うことができた。(子育て相談課)	子ども家庭センターを設置したことで、今まで以上に母子・児童福祉が一体的に、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ継続的に切れ目ない支援を行うことができた。	
				R4	1600	1358						
				R5	1600	1622						
				R6	1600							
			単位:件	R6	1600							
	制度に向けた連携	R2			評価	A	B	A	B			
		R3			総評	統括コーディネーター制度について、社会福祉協議会と連携を図り、断らない相談体制に向けて推進した。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の開始を検討するため、庁内および社会福祉協議会とで協議を重ねた。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を令和5年度から開始する準備を整えた。市および社会福祉協議会で一体となり包括的に相談対応する。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を開始した。市および社会福祉協議会が一体となり包括的に相談対応するため、支援会議を月1回開催した。(福祉課)			
		R4										
		R5										
		R6										
	単位:件	R6										
	障害者基幹型相談室相談及び支援件数	R2	2000	2220	評価	C	C	B	B			
		R3	2000	2376	総評	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、障害に対する総合相談を行っている。(福祉課)	障害者相談専門員が障害者等からの総合相談に応じるほか、市内の相談支援事業所等への専門的指導・助言を行った。(福祉課)	基幹型相談室において、目標値及び前年実績を上回る件数の相談支援を行った。また、地域の相談支援体制強化のため、相談支援事業所訪問や研修を実施した。(福祉課)	基幹型相談室において、目標値及び前年実績を上回る件数の相談支援を行った。また、地域の相談支援体制強化のため、相談支援事業所訪問や研修を実施した。(福祉課)			
R4		2000	2896									
R5		2000	3690									
R6		2000										
単位:件	R6	2000										
②	連携・協力	協議した回数	R2	15	10	評価	B	B	B	B		
			R3	15	11	総評	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の開始を検討するため、庁内および社会福祉協議会とで協議を重ねた。(福祉課)	重層的支援体制整備事業開始に向けて目途が立ち、庁内および社会福祉協議会とで具体的な協議を重ねた。(福祉課)	重層的支援体制整備事業開始に向けて移行準備事業を開始した。本格実施に向け庁内および社会福祉協議会とで具体的な協議を重ねた。(福祉課)		
			R4	15	12							
			R5	15	12							
			R6	15								
単位:回	R6	15										
地域における権利擁護の推進	①	体制整備・情報発信	中核機関の設置	R2	1	0	評価	C	C	C	C	
				R3	1	0	総評	関係機関と情報交換を行い、現状について再確認を行った。今後は、中核機関の設置に向けて取り組みたい。(健康長寿課)	継続的に関係機関と情報交換を行った。引き続き、中核機関の設置に向けて取り組みたい。(健康長寿課)	継続的に関係機関と情報交換や情報収集を行った。引き続き、中核機関の設置に向けて取り組みたい。(健康長寿課)	継続的に関係機関と情報交換や情報収集を行い、中核機関設置に向け取り組んだ。令和6年4月より中核機関設置予定。(健康長寿課)	
				R4	1	0						
				R5	1	0						
				R6	1							
			単位:	R6	1							
			制度周知	R2			評価	C	C	C	B	
				R3			総評	窓口や相談員により、障害者や家族に対してパンフレット配布を行い、制度の周知に努めた。(福祉課)	窓口や相談員により、障害者や家族に対してパンフレット配布を行い、制度の周知に努めた。(福祉課)	窓口や相談支援専門員により、障害者や家族に対して制度の周知に努めた。また、関係機関と情報交換を行った。(福祉課)	窓口や出前講座、相談支援専門員により、障害者や家族に対して制度の周知を行った。また、中核機関設置に向け、関係機関と情報交換を行った。(福祉課)	
				R4								
				R5								
R6												
単位:	R6											

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 2
支え合いの仕組みづくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
地域における権利擁護の推進	②	制度の利用促進	市長申立の件数	R2	7	4	総評	本人の権利を守るために必要と判断されるサービスが契約することができ、日常生活支援上の支援を図ることができた。(健康長寿課)	本人の権利を守るために、必要と判断される対象者が制度が利用しやすい環境づくりをし、利用促進を行った。(健康長寿課)	本人の権利を守るために、必要と判断される対象者が制度が利用しやすい環境づくりをし、利用促進を行った。(健康長寿課)	本人の権利を守るために、必要と判断される対象者が制度が利用しやすい環境づくりをし、利用促進を行った。(健康長寿課)		
				R3	5	4							
				R4	5	3							
			R5	5	0								
			R6	5									
			単位:件										
	市長申立の件数	R2	1	1	総評	成年後見制度利用支援事業を継続して実施。(福祉課)	成年後見制度利用支援事業を継続して実施。(福祉課)	制度の利用が必要とされる対象者について、市長申立を行った。引き続き、利用促進に努める。(福祉課)	対象者が制度を利用しやすい環境づくり及び利用促進に努めた。(福祉課)				
		R3	1	0									
		R4	1	1									
		R5	1	0									
		R6	1										
		単位:件											
住民が地域での生活の充実を慣れ	①	交流の支援	交流の支援	R2			総評	高齢者サロン等の通いの場の充実に向けた取組については、当初予定していたリハ職派遣等の事業が新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされた。(健康長寿課)	新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、地域で活動を再開した高齢者サロンに対し、リハ職派遣を実施。また、社協と連携し、高齢者の通いの場づくり応援助成金が開始。(健康長寿課)	新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、地域で活動を再開した高齢者サロンに対し、リハ職派遣を実施。また、社協と連携し、高齢者の通いの場づくり応援助成金を実施。(健康長寿課)	地域で活動している高齢者サロンを対象に専門職派遣事業(PT・OT、歯科衛生士、栄養士)を実施。また、社協と連携し、高齢者の通いの場づくり応援助成金を実施。(健康長寿課)		
				R3									
				R4									
				R5									
				R6									
				単位:件									
	②	団体との連携	団体との連携	R2			総評	令和4年度の再犯防止推進計画作成に向けて、更生保護団体と連携し、準備をすすめた。(福祉課)	令和4年度の再犯防止推進計画作成に向けて、更生保護団体と連携し、委員会を開催して準備をすすめた。(福祉課)	桐生市再犯防止推進計画を策定・完成した。令和5年度から開始している。(福祉課)	桐生市再犯防止推進計画を策定・完成した。令和5年度から開始している。(福祉課)		
				R3									
				R4									
				R5									
				R6									
				単位:件									
地域全体によるネットワークの推進	①	社会福祉法人との連携	社会福祉法人と連携した地域づくり	R2			総評	一部の地域で実施されている買い物支援ツアー(地域の社会福祉法人が空き車両を提供)は、新型コロナウイルスの影響等により未実施となった。(健康長寿課)	一部の地域で実施されている買い物支援ツアー(地域の社会福祉法人が空き車両を提供)は、新型コロナウイルスの影響等により未実施となった。(健康長寿課)	一部の地域で実施されている買い物支援ツアー(地域の社会福祉法人が空き車両を提供)は、新型コロナウイルスの影響等により未実施となった。(健康長寿課)	一部の地域で実施されている買い物支援ツアー(地域の社会福祉法人が空き車両を提供)は、新型コロナウイルスの影響等により未実施となった。(健康長寿課)		
				R3									
				R4									
				R5									
				R6									
				単位:箇所									
	②	体制整備	地域支え合い推進協議体の設置数	R2	20	6	総評	20の第2層協議体の設置を目指しているが新型コロナウイルスの影響等により新たな協議体の設置はなかった。今後も未設置圏域における新規設置を重点的に進めていきたい。(健康長寿課)	20の第2層協議体の設置を目指しているが新型コロナウイルスの影響等により新たな協議体の設置はなかった。今後も未設置圏域における新規設置を重点的に進めていきたい。(健康長寿課)	20の第2層協議体の設置を目指しているが新型コロナウイルスの影響等により新たな協議体の設置はなかった。今後も未設置圏域における新規設置を重点的に進めていきたい。(健康長寿課)	新たに2地区に第2層協議体を設置した。今後も未設置圏域における新規設置を重点的に進めていきたい。(健康長寿課)		
				R3	20	6							
				R4	20	6							
				R5	20	8							
				R6	20								
				単位:箇所									

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 2
支え合いの仕組みづくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
地域全体によるネットワークの推進	②	体制整備	ネットワークの強化	R2			評価	B	B	B	B						
				R3									総評	子ども家庭総合支援拠点を中心に関係機関とのネットワークが強化された。(子育て相談課)	子ども家庭支援拠点を中心に関係機関と連携し、ケース対応等必要に応じて情報交換等を行いネットワークを強化することができた。	子ども家庭総合支援拠点を中心に関係機関と連携し、ケース対応等必要に応じて情報交換等を行いネットワークを強化することができた。(子育て相談課)	子ども家庭センターを中心に関係機関と連携し、ケース対応等必要に応じて情報交換等を行いネットワークを強化することができた。
				R4													
				R5													
				R6													
				単位:													
			R2			評価	C	C	B	B							
			R3								総評	R2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した会議もあったが、書面開催等実施し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	R3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した会議もあったが、書面開催等実施し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	自立支援協議会定例会を始め、各専門部会を設置し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	自立支援協議会定例会を始め、各専門部会を設置し、事例研究のほか、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)		
			R4														
			R5														
R6																	
単位:																	
R2	14000	22434	評価	A	A	A	A										
R3	20000	25251						総評	地域包括支援センターに寄せられる相談について、多職種・多機関・多分野横断的な相談支援を行える連携を心掛けた。(健康長寿課)	地域包括支援センターに寄せられる相談について、多職種・多機関・多分野横断的な相談支援を行える連携を心掛けた。(健康長寿課)	地域包括支援センターに寄せられる相談について、高齢者だけでなく全世代の相談を受け付け、必要な機関と連携して支援を行った。(健康長寿課)	地域包括支援センターに寄せられる相談について、高齢者だけでなく全世代の相談を受け付け、必要な機関と連携して支援を行った。(健康長寿課)					
R4	20000	26894															
R5	20000	23969															
R6	20000																
単位:件																	
R2			評価	B	B	A	B										
R3								総評	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を令和5年度から開始する準備を整えた。市及び社会福祉協議会で一体となり包括的に相談対応する。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を開始した。市及び社会福祉協議会が一体となり包括的に相談対応するため、支援会議を月1回開催した。(福祉課)					
R4																	
R5																	
R6																	
単位:																	
R2	2000	2220	評価	B	B	B	B										
R3	2000	2376						総評	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	重層的支援を進める中で、障害者基幹型相談室の役割は大きく、相談支援専門員が障害者からの相談はもとより、関係機関との連携支援を行い、総合的な相談支援に努めた。(福祉課)						
R4	2000	2896															
R5	2000	3690															
R6	2000																
単位:件																	
R2	50	64	評価	A	A	A	A										
R3	60	75						総評	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、情報交換の場を設け、それぞれのニーズに対し、関係機関と協働・連携を図った。(健康長寿課)	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、関係機関と協働・連携を図った。(健康長寿課)	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、関係機関と協働・連携を図った。(健康長寿課)						
R4	60	77															
R5	60	79															
R6	60																
単位:件																	
R2	1000	1001	評価	B	B	B	B										
R3	1000	1067						総評	基幹型相談室にて障害者の困りごと等の相談を受け、必要に応じて各関係機関と連携を取ることができた。(福祉課)	基幹型相談室にて障害者の困りごと等の相談を受け、必要に応じて各関係機関と連携を取ることができた。(福祉課)	基幹型相談室にて、市民や関係機関への情報提供を行うとともに、社会福祉協議会や地域包括支援センター等関係機関と連携し包括的な支援に努めた。(福祉課)						
R4	1000	1399															
R5	1000	2003															
R6	1000																
単位:件																	

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 3
地域を支える
人づくり・活動の促進

A: 大きく推進した B: 推進した C: 変化なし
D: 後退した E: 廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福祉教育の推進	3 - 3	② 体験学習機会の提供	認知症サポーター養成数累計	R2	17000	16658	評価	D	C	C	B	
				R3	17700	17486	総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、出前講座の依頼は例年より減少し、養成数は激減したが、オンライン研修の導入や十分な感染対策のもと、年1回の市民向け養成講座などに取り組んだ。(健康長寿課)	認知症サポーター養成数は前年度養成数275人に比べ、約550人増の828人となったが、コロナ禍による影響は継続している。年1回の市民向け養成講座はオンライン研修を取り入れた。(健康長寿課)	認知症サポーター養成数は706人の増加となったが、コロナ禍による影響は継続している。小学校からの依頼は前年度より増加。年1回の市民向け養成講座はオンライン研修を取り入れた。(健康長寿課)	認知症サポーター養成数は1136人の増加となった。地域のサロンや学校でもコロナの影響が少なくなり、実施が増えた。(健康長寿課)	
				R4	18400	18192						
				R5	19100	19661						
				R6	19800							
				単位:人								
			R2	1	4	評価						B
			R3	1	1	総評	出前講座として高校生に対し沐浴実習・妊婦体験を行い、福祉教育を推進した。(子育て相談課)	妊娠期から子育て期を健全に過ごす身体づくりのため、出前講座として中学生に対し生活習慣や栄養に関する講話を行い、福祉教育を推進した。	出前講座として207人に対し、小学校就学時健診での保護者と中学生に対し生活習慣や栄養に関する講話を各1回、高校生に対して3回沐浴実習・妊婦体験を行った。(子育て相談課)	中学生と小学校就学時健診での保護者に対し、生活習慣や栄養に関する講話を各1回、中高生に対して4回沐浴実習・妊婦体験を行った。(子育て相談課)		
			R4	1	5							
			R5	1	6							
			R6	1								
			単位:回									
			R2	17	13						評価	C
			R3	17	13	総評	市内小学校(コロナウイルス感染拡大により4校中止)にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)	市内小学校(コロナウイルス感染拡大により4校中止)にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)	市内小学校(コロナウイルス感染拡大により4校中止)にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)	市内小学校にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)		
			R4	17	13							
			R5	17	13							
			R6	17								
			単位:校									
R2	20	0	評価	D	B						B	C
R3	20	15	総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、養成研修中止。また、介護予防サポーターを対象としたフォローアップ研修も中止。代替方法として、介護予防サポーター向けに情報発信を行った。(健康長寿課)	十分な感染拡大防止対策をとりながら、介護予防サポーター養成研修を実施。フォローアップ研修については、3年ぶりに実施ができた。(健康長寿課)	十分な感染拡大防止対策をとるため定員を設けながら、介護予防サポーター養成研修を実施。フォローアップ研修についても実施。(健康長寿課)	介護予防サポーター養成研修及びフォローアップ研修を実施。また、ボランティアポイントの対象となるサポーターの活動範囲を拡充した。(健康長寿課)					
R4	30	18										
R5	30	17										
R6	30											
単位:人												
R2	73	14						評価	C	C	B	B
R3	73	91	総評	精神保健福祉ボランティア養成講座をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読・要約筆記講習会はコロナウイルス感染拡大防止のため全講座中止となった。(福祉課)	精神保健福祉講演会をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読・要約筆記講習会はコロナウイルス感染拡大防止のため全講座中止となった。(福祉課)	精神保健福祉ボランティア養成講座をみどり市と共同にて開催した。また、点訳・朗読講習会を開催(手話・要約筆記講習会はコロナウイルス感染拡大防止のため中止)した。(福祉課)	精神保健福祉講演会をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読講習会を開催した。(要約筆記講習会は中止)した。(福祉課)					
R4	73	25										
R5	73	83										
R6	73											
単位:人												

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。